



2024年2月6日

各位

会社名 日本精鉱株式会社
代表者名 代表取締役社長 植田 憲高
(コード番号 5729 東証スタンダード)
問合せ先 取締役企画管理部長 大西芳太郎
(TEL 03-3235-0021)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年2月6日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を評価し、方針・目標、具体的な取り組みを、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社グループは、2022年4月よりスタートした3カ年の中期経営計画において、「グループ力を発揮し、持続可能な事業の成長に向けて、チャレンジし続ける Challenge for Sustainable Growth」をスローガンとし、「グループ連携の強化」、「収益力の改善」、「新たな価値を生み出す事業の創出」、「魅力ある会社づくり」という基本方針のもと、高付加価値製品の生産能力の拡充、オープンイノベーション推進による新規事業創出、車載向け製品の取り組み強化、デジタル化による業務プロセスの効率化、サステナビリティ事業への取組み、多様な人財が活躍できる環境づくり、SDGs 活動の推進などに取り組んでおります。前中期経営計画と同様に、最終年度である2025年3月期において、連結 ROE10%以上を目標としております。

ROE は過去5期平均で 9.9%であり、10%を超える年度もありましたが、現中期経営計画初年度である2023年3月期は 5.2%となりました。

PBR につきましても、過去5期の決算期末平均は 0.81 倍であり、2022年3月期に 0.99 倍となりましたが、2023年3月期には 0.80 倍となっております。

過去5期の ROE と PBR の推移をみますと、ROE が改善すると PBR も改善する傾向にあります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	14,083	10,913	11,247	17,097	15,923
営業利益(百万円)	1,252	448	1,194	2,191	802
当期純利益(百万円)	829	286	813	1,540	481
ROE(%)	12.0	3.9	10.7	17.9	5.2
1株当たり純資産(円)	2,952.22	2,985.41	3,264.29	3,810.33	3,855.56
株価(円)	2,280	1,894	2,830	3,780	3,100
PBR(倍)	0.77	0.63	0.87	0.99	0.80
配当性向(%)	22.1	64.0	19.5	22.2	60.8

2. 方針と目標

当社は株主資本コスト（8%と設定）を上回る資本収益性を確保するという観点から、成長戦略の実行、株主還元・資本戦略の推進、IR活動の充実を行っていくことで、ROEを安定的に10%以上に向上させ、PBRの向上を図ってまいります。

3. 具体的な取り組み

(1)成長戦略の実行による収益拡大

①アンチモン事業

- * 三酸化アンチモンの生産工程の整理集約と効率化を図る。
- * 三硫化アンチモン原料の生産能力増強などにより、製品販売を強化する。
- * 三硫化アンチモンの製造技術を応用した各種硫化物の開発を促進する。

②金属粉末事業

- * 日本アトマイズ加工(株)での鉄系合金粉の生産能力増強により、市場の拡大に対応する。
- * 自動化など生産効率化による生産コストを削減する。

③新規事業

- * 新製品の開発を促進する。
- * M&A投資などの積極的な活用を行い、第3の事業の構築を目指す。

(2)株主還元・資本戦略の推進

- ①業績に左右されない安定した配当を継続的に行う。連結配当性向の目安については、25%から30%に引き上げる。
- ②自己株式取得による、株主価値の増加を検討する。
- ③持続可能な成長戦略を支える人的資本への積極的投資を行う。

(3)IR活動の充実

- ①当社ホームページ、株主向け報告書などを通じて、会社情報の定期的な発信を行う。
- ②サステナビリティ活動などの非財務情報の開示を充実する。
- ③株主アンケートを定期的実施し、内容を当社内で共有し、今後の活動に活かす。

以上